別記

様式第１号（第４関係）

漁業経営再建計画認定申請書（漁家経営用）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　殿

住　所

氏　名

　宮崎県漁業経営維持安定資金事務取扱要領第４の１の規定により、下記の漁業経営再建計画について認定を受けたいので申請します。

記

表１　漁業経営の状況

|  |  |
| --- | --- |
| 　　　漁　　　業　　　施　　　設 | 主　な　漁　業　種　類 |
| 使用漁船名等 | 規　　　　模 |
| ト ン 数 | 馬　　力 | 船　　齢 |
|  |  |  |  |  |
|

|  |  |
| --- | --- |
| 連絡先 |  |

（注）　本様式は、使用漁船の合計総トン数が３０トン未満の漁船漁業、養殖業、小型定置漁　　　業を主として営む中小漁業者のうち個人が用いる様式である。

表２　資産及び負債の状況 （　　年　　月　　日現在）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （１）資産の部 | （２）負債の部 | うち整理必要額 |
| 　　項　　目 | 　金　　額 | 　　項　　目 | 　金　額 |
| （流動資産）現預金　 内 系統内定期性　 訳 系統内当座性　　　系統以外の預金売掛金その他流動資産（固定資産）船舶（総評価額）宅地 ㎡建物（建坪） ㎡山林 　 ㎡田畑 ㎡その他固定資産 |  千円  | （流動負債）短期借入金 内　系統 訳 系統以外買掛金 内　系統 訳 系統以外未払金 内　系統 訳 系統以外その他流動負債（固定負債）長期借入金　 内　系統　 訳　系統以外その他固定負債 内　系統 訳 系統以外 |  千円 | 　　　　千円 |
|  計　　　（Ａ） |  |  計　　　　（Ｂ） |  |  |
| 差引純財産（Ａ－Ｂ） |  |  |

（注）１　負債欄は、長期借入金、短期借入金、買掛金等勘定科目ごとに記入する。

　　　２　債務整理必要額の合計は、添付資料の債務整理必要額の合計と一致する。

　　　３　預金、借入金等については、残高証明書を添付し、固定資産については市町村長の　　　　証明書を添付する。

表３　収入及び支出の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

|  |
| --- |
| 　　　　　　　　　　　　収　入　実　績　及　び　計　画　 |
|  　 年度別収支状況 |  年度 |  年度 |  年度 | 　 年計画 |
|  金　額 |  金　額 |  金　額 |  金　額 |
| 漁業部門 | 収入 | 水揚高　　　　　　　　　（Ａ） | （　　）kg | （　　）kg | （　　）kg | （　　）kg |
| 支出 | 水揚手数料 |  |  |  |  |
| 燃料費 |  |  |  |  |
| 漁具費 |  |  |  |  |
| 餌料費 |  |  |  |  |
| 氷代 |  |  |  |  |
| 函代 |  |  |  |  |
| 修理費 |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |
| 乗組員給料 |  |  |  |  |
| 乗組員保険料 |  |  |  |  |
| 漁船保険料 |  |  |  |  |
| 営業費 |  |  |  |  |
| ※減価償却費　　　　　　　① |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |
| 支出計　　　　　　　　　（Ｂ） |  |  |  |  |
| 利益　　　　（Ａ－Ｂ）＝（Ｃ） |  |  |  |  |
| その他 | 収入 | その他の収入　　　　　　（Ｄ） |  |  |  |  |
| 支出 | ※減価償却費　　　　　　　②支出計　　　　　　　　　（Ｅ） |  |  |  |  |
| 差引損益　　　（Ｄ－Ｅ）＝（Ｆ） |  |  |  |  |
| 所得　　　　　　　（Ｃ＋Ｆ）＝（Ｇ） |  |  |  |  |
| 家計費・税金　　　　　　　　　（Ｈ） |  |  |  |  |
| 経済余剰　　　　　（Ｇ－Ｈ）＝（Ｉ） |  |  |  |  |

（注）１　漁業支出については、減価償却費以外は必要に応じて燃油費等を記入する。

　　　２　実績は、直近３か年を記入し、次期以降の計画は平年度ベースで記入してもよい。

表４　漁業経営の改善措置等

|  |
| --- |
|  |
|

（注）　漁業収支等について、問題点、改善措置、期待できる効果等についてできるだけ具体　　　的に記入する。

表５　資金調達及び償還計画（別紙のとおり）

表５　資金調達及び償還計画（漁家経営用）

 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 資金計画 | 債務整理必要額 | 漁業経営維持安定資金 | その他 |
|  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 償還計画 | 資金使途 | 借入先（相手先） | 現在残高 | 利　率 | 償還期間 | 年度別償還金 |
| 始　期 | 終　期 | 年 | 年 | 年 | 年 | 年 | 年 | 年 | 年 | 年 | 年 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 合計(K) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 償還財源 | 経済余剰(I)減価償却費（C+E)その他 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 合計（K) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 差引過不足（K－j） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

（注）１　償還計画については、漁業経営維持安定資金以外に長期借入金、長期未払金についても記入する。

　　　２　償還計画の漁業経営維持安定資金については、現在残高欄に借入希望額を記入する。

 ３　償還財源を漁業収入から天引きする者は、それに応じた様式にしてもよい。

添付資料（漁家経営用）

 整理対象債務の明細（　　　　年　　月　　日現在）

 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 （単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 科目 | 借入先（相手先） | 債務の原因 | 当初借入日（発生日） | 償還期限（支払期限） | 利率 | 当初借入額（発生額） | 現在残高 | うち債務整理必要額 |
| 支払期日 | 金額 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 合計 |  |

（注）１　整理対象債務ごとに長期借入金、短期借入金、買掛金等勘定科目別に記入し、小計する。

　　　２　整理対象債務に関する債権者の残高証明等を添付する。

 ３　その他必要に応じて、今後の設備計画（処分、新規、投資）等を添付する。